

令和8年 礼文町新春懇談会

年 頭 あ い さ つ

令和8年1月9日

礼文町長 澁谷 秀 勝

明けましておめでとうございます。

輝かしい令和8年の新春を、町民の皆様、そしてご来賓の皆様とともに迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。また、本日はお忙しい中「礼文町新春懇談会」にご臨席賜りました礼文町議会議長・新山彦司様をはじめ、多くの皆様に厚く御礼申し上げます。

町民の皆様におかれましては、日頃より町政推進への深いご理解と温かいご支援を賜り、改めて心より感謝申し上げます。迎えた令和8年も、町民の皆様とともにより一層活力ある礼文町を築くべく、努力してまいります。引き続き、変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

昨年、礼文町では24年ぶりとなる町長選挙という大きな節目を迎えました。その結果、町民の皆様のご支持により、第6代町長という名誉ある職を担わせていただくことになりました。不慣れな中、手探りで務めた半年間を振り返りますと、多くの課題に直面しましたが、町民の皆様や

職員の支えを受けながら少しずつ町政に順応してきた実感がございます。改めて皆様の温かなご支援に心より感謝申し上げます。

さて、本日の冒頭では、礼文町表彰条例に基づき「功労表彰」および「善行表彰」を行いました。受賞者の皆様は、行政や地方自治、地域社会の発展に多大な貢献をされた方々であり、さらに地域防災活動において水難救難所員として尽力された皆様でもあります。その功績に対し、礼文町を代表し心より感謝と敬意を表します。

特に今回は、町の歴史を築いてこられた先輩町長に表彰状を授与するという厳かな場面がございました。私自身、この瞬間を通じて責任の重さを改めて自覚し、身を引き締める思いを抱いたところでございます。受賞者の皆様に、これまでのご尽力に心より感謝申し上げますとともに、今後のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

令和8年は干支において丙午（ひのえうま）の年に当たります。「丙」（ひのえ）は力強い輝きを放つ太陽を、

「午」（うま）は活力や勢いを象徴するものです。この重要な年に、礼文町も力強く未来への一步を踏み出したいと考えております。

現在、灯油価格や生活必需品の高騰、為替変動といった課題が地域経済を圧迫しておりますが、地域産業、特に漁業や観光業が力を結集することで、島の魅力をさらに高め、この困難を乗り越える原動力としていきたいと考えております。

水産業においては、礼文島の特産品であるエゾバフンウニをはじめとする海産物が全国各地で親しまれております。その資源を持続可能性の観点で守りつつ、次世代につながる産業として発展させる必要があります。

令和7年の水揚げ額が42億9千万円を突破し、過去最高を記録しました。これは非常に喜ばしい成果ですが、一方で漁獲量は減少傾向にあります。この現状に対応すべく、水産試験場や関係機関と連携し、豊かな海洋資源を守

りながら活力ある産業への進化を進めなければなりません。

また、気候変動による海水温の上昇が島周辺の水産資源に及ぼす影響についても注視し、専門家の知見を活用した適切な藻場の保全や育成、ブルーカーボンの推進を通じて、持続可能な社会づくりに貢献する「環境モデル地域」としての礼文島の実現を目指していかねばなりません。

観光業においては、礼文島の豊かな自然や人々の温かさを最大限に活かした新たな観光スタイルを創出する必要があります。昨年の観光入込人数は前年比 89.1%に当たる約 8 万人と減少しましたが、インバウンド観光は堅調を維持しており、明るい兆しも見えてつあります。

今後はショルダーシーズン（閑散期）の可能性をさらに掘り下げ、年間を通じて観光客を迎える仕組みを強化することで、多くの方々に魅力ある礼文島の姿を感じていただけるよう勧めてまいります。観光業の振興は町の発展のみ

ならず、地域経済の活性化にも寄与いたします。引き続き、重点的に取り組む必要がございます。

今年には「有人国境離島法」の延長が重要な課題となります。現在、国においても今後の政策に向け、離島航路や空路の維持に対する「思い切った展開」に関する議論が進められております。私たちとしては、この法律を最大限に活用し、「礼文空港再開に向けた着実な前進」や「稚内～新千歳間の運賃低廉化の実現」など、町民の生活の質を向上させる具体的な対策を国へ積極的に働きかけてまいります。

町民の皆様と行政が力を合わせ、礼文町の未来をより明るいものにしていきたいと考えております。これらの取り組みに関して、皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

昨年、日本初の女性首相・高市早苗氏が誕生し、多様性やジェンダー平等を軸とした新たな時代が幕を開けました。この社会的変化は地方行政にも大きな示唆を与えるも

のであり、礼文町としてもその動きを受け止め、地方の可能性を全国に発信し、町民生活のさらなる向上に向けて邁進する所存であります。

新年は希望に満ちた新たなスタートを切る重要な節目です。「雨垂れ石を穿つ」という言葉の通り、小さな努力の積み重ねが大きな成果をもたらすと信じております。今年「今年の礼文町は一味違う」と町民の皆様を感じていただけるよう、改革と挑戦に満ちた一年を目指してまいります。

私は「島の絆・地域の結びつきと支え合いによる島のさらなる発展を目指して」という理念のもと、町民一人ひとりの声に耳を傾けながら、すべての世代が安心して暮らせる「あたたかな礼文町」の実現に取り組んでまいります。

若者が希望を持ち、子どもたちが笑顔で育ち、世代を超えた温かな絆で町全体を包む社会を築くことこそ、町政に携わる私たちの使命であると確信しています。この理念の達成に向け、不屈の精神で町政運営に邁進してまいります。

結びに、礼文町のさらなる発展と、町民の皆様、そして本日お集まりいただいた皆様にとって、令和8年が希望に満ち溢れる明るく素晴らしい一年となりますよう、心より祈念申し上げ、「礼文町新春懇談会」のご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。